

**1 活動名****ハロウィンを楽しもう（生活単元学習）****2 対象**

- ・小学部 1年生（単一学級）

**3 内容と取組の様子**

- ・学級の季節を感じる制作活動の一環として、10月下旬にハロウィンのバーチャル仮装をしました。本学級は上着や紅白帽に苦手意識を持つ児童が多く、子どもたちにとってのハロウィンの醍醐味とも言える仮装を楽しむことが難しいという観点から、iPad のカメラアプリ「SNOW」を活用したバーチャル仮装を行いました。
- ・担任は、順番にテレビの前に座る児童一人ひとりの姿勢や様子に合わせて iPad を動かし、撮影しました。前に出た児童は、鏡や動画に映る自分の姿に気付いて、表情や身体の動きに合わせて変化する音楽やアニメーションを楽しんでいました。テレビに iPad 画面を映すことで一人ひとりの様子を学級全体で共有することができ、順番を待つ児童に活動への期待や見通しを持たせる事ができました。
- ・本単元のまとめとして撮影した写真を印刷し、背景に切り貼りして掲示物を作成した。



テレビを使用することで、iPad 画面を学級全体で共有した。

画面に映し出された自分の姿に気づき、変化を楽しむ様子。

移動の難しい児童でも、内カメラに切り換えて楽しめる。

**4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)**

- ・iPad（本体、ケーブル、変換アダプタ）、テレビ、
- ・無料カメラアプリ「SNOW」（SNOW Corporation より）

**5 おすすめポイント**

- ・かぶり物や仮装に苦手意識を持つ児童も、簡単に仮装を楽しむことができる。
- ・季節にあった写真フィルターやBGM付き動画フィルターが配信されるため、ハロウィンに限らず様々なイベントを楽しむことができる。
- ・テレビにつなげることで、学級全体でiPad画面の共有ができる。
- ・映し出された自分の姿に夢中になるため、同時に学習の記録・写真撮影ができる。
- ・自分の姿をリアルタイムで見て確認できると共に、表情や身体の動きに合わせてアニメーションや音楽が変化するため、表情や身体の自発的な動きを促すことができる。

**6 さらに工夫したいこと**

- ・バーチャル仮装から実際の仮装（カチューシャや帽子、マントなど）へとつなげることで、帽子や上着の苦手意識の克服につながる可能性があると考えた。